

研究機関：広島大学

研究課題名	脊髄脂肪腫の予後に関する研究
研究責任者名	広島大学医系科学研究科脳神経外科 准教授 飯田 幸治
研究期間	2021年9月3日(倫理委員会承認後)～2024年12月31日

#### 対象者

2000年1月から2020年12月の間に、広島大学病院脳神経外科で脊髄脂肪腫に対する診断及び治療を受けられた患者さん。

#### 意義・目的

脊髄脂肪腫は神経管の形成不全によって引き起こされる先天性疾患です。症状は多岐に渡り、成人になって初めて発症するケースもあります。そのため脊髄脂肪腫の自然歴は未だ明らかになっておりません。手術により脊髄脂肪腫による脊髄の牽引を解除することが治療ですが、特に無症候性のものであるものに対する手術の適応、介入時期については未だ議論の余地があるところです。

本研究では脊髄脂肪腫の予後を明らかにし、治療介入に有用な指標を見出すことが目的です。

#### 方法

本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。

以下から抽出する内容は、氏名、年齢、性別、血液検査、画像所見、病理所見です。（個人を特定可

能な情報は解析に用いません）。

#### 共同研究機関

なし

#### 試料・情報の管理責任者

広島大学医系科学研究科脳神経外科 准教授 飯田 幸治